

(様式)

令和6年度「ふるさとの学び特別賞」 推薦書

令和6年11月20日

学校名	越前市武生第五中学校	校長名	大橋 周一郎
-----	------------	-----	--------

1. 推薦理由	
地域の活性化につながる活動を生徒が主体的に企画・実践し、活動の成果を発表する機会を設けることをスクールプランの具体的な取組として掲げ、地域の自然や産業を教育活動に取り入れながら、生徒主体の探究的な学びの推進に取り組んでいるため。	
2. 活動内容 テーマ「地域と協働した探究的な学びの推進 ～すいかとさぎ草の栽培を地域活性化につなげる～」	
(1)対象 全学年 28名(1年生12名、2年生9名、3年生7名) (2)取組内容 ①すいか栽培から地域活性化へ 本校は、地域のすいか名人にご指導いただきながら、毎年全校生徒で地域の特産であるすいか栽培に取り組んでいる。今年度は特に、3年生の生徒が主体となり、SDGsの視点も取り入れながら、地域の課題改善につながるよう、すいか栽培を活かした地域活性化への新たな探究的な活動を企画提案し実践した。主なものは次の二つである。一つ目はすいか畑の雑草を使った有機肥料づくりである。できた肥料は、地区の公民館と小学校にプレゼントし、たくさんの花が咲く美しい地域づくりに活用していただくようお願いした。二つ目はすいかアイスの製造と販売である。アイスクリーム製造業者と連携しながら生徒が試作し、オリジナルアイスの開発に至った。また、すいかアイスの販売と試食会を行った際には、テレビや新聞の取材を受け、多くの人に白山地区を知っていただくきっかけとすることができた。 ②さぎ草栽培から地域活性化へ 1年生全員が一人一鉢ずつ、希少植物のさぎ草を栽培した。安養寺町さぎ草王国のメンバーの方をゲストティーチャーとして招き、植え付けや管理などの栽培方法について教えていただき、定期的に指導を受けながら、きれいなさぎ草の花を咲かせることができた。育てた鉢は、8月に地域で開催された「さぎ草展」に展示し、たくさんの人に見ていただくことで、白山地区の活性化に向けての取り組みに協力することができた。さらに、多くの人に白山地区やさぎ草のことを知ってもらうため、生徒からの発案で、さぎ草をモチーフとしたキャラクターを作り、「さぎ草展」や地区の文化祭などで発表した。 また、①②の活動内容については、昨年を引き続き、掲示物を作成してすいか販売時に展示したり、SNSを使って生徒の言葉で積極的に発信したりする取組も継続してきた。	
3. 年間活動実績(12月以降の予定を含む)	
4月・すいか畑の堆肥まきや畝取り、マルチ設置 など ・さぎ草の植え付け 5月・すいかの定植、トンネルづくり、摘芯、追肥、電気柵の設置 など ・さぎ草水やり(8月まで継続) 6月・すいか畑のトンネル撤去、わらいらす設置、すいか整枝作業 など ・さぎ草をモチーフにしたキャラクターづくり 7月・すいか畑の着果棒たて、黒マルチの設置、収穫、親子収穫祭 など ・すいかアイス試作品づくり ・すいか畑の雑草を使った有機肥料づくり ・さぎ草王国のメンバーとの座談会 8月・すいかの収穫、販売、試食会 ・すいかアイスの試食会、販売 ・さぎ草展への出品 9月・すいか畑の雑草を使った有機肥料を小学校と公民館にプレゼント ・文化祭ですいかとさぎ草栽培に関する探究活動について発表 10月・すいか栽培とさぎ草キャラクターについて地区文化祭で掲示物にて発表 11月・さぎ草球根とり	
4. 提出書類リスト	
・学びの様子がわかる写真 ・新聞記事(福井新聞、日刊県民福井) ・生徒が作成したさぎ草をモチーフにしたキャラクターイラスト ・生徒が作成したすいかアイス販売のチラシ	